

博士後期課程 言語科学専攻 3つのポリシー

人間の知的活動および社会的活動の基礎である言語(主に日本語・英語)と言語教育・言語コミュニケーションに関わる諸科学を理論と実態、理論と実践を結びつけ多角的に考究することを通して、基盤的・専門的な専門知識、卓越した研究能力、広い視野と多様性への理解に基づく多角的思考力と判断力、高い倫理性と強い責任感、地球社会の調和・共存に貢献しうる実践力とコミュニケーション能力 を有し、それぞれの分野で幅広い視野に立って指導的・先導的役割を担いうる研究者および大学教員等を育成します。

1. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

博士後期課程・言語科学専攻では、言語と言語教育に関する諸分野において高度な専門知識と先導的・指導的な役割を担いうる研究者とを必要とする職業を担いうる人材を育成します。

1. 入学前に修得が期待される能力

博士後期課程言語科学専攻での学修を希望する者に対して、入学選抜においては、以下のような能力の有無について評価します。

1. 志望分野に関する専門的知識
2. 研究を通じて学術の高度化に寄与する総合的思考力と批判的判断力
3. 多様性に対する認識と協働に必要なコミュニケーション能力

2. 入学後の学びに対する姿勢

入学後の学修については、以下のような姿勢を求めます。

1. 高度な専門知識と卓越した研究力を修得するための主体的に取り組む姿勢
2. 理論と実態、理論と実践の関係性について深いレベルで理解しようとする姿勢
3. 広い視野に立って専門的観点から諸問題に対して解決策を見出そうとする姿勢
4. 社会的・文化的多様性の理解に基づき地球社会の共生に寄与しようとする姿勢

3. 入学者選抜の方法

受験者の能力と姿勢を総合的に評価するために、書類審査、外国語筆記試験、および、口述試験を行います。

2.カリキュラム・ポリシー(教育課程に関する方針)

博士後期課程・言語科学専攻は、ディプロマポリシーに掲げる教育目的を達成するために、以下の方針のもとに教育課程(カリキュラム)を編成し、実施しています。

1.教育内容

1. 言語と言語教育に関わる専門分野の特殊研究、特論演習の科目を設置し、これらの分野で、国際的に活躍できることも視野に入れて、自立した専門分野の研究者及び指導的人材を育成するために指導を行います。修士課程で培った研究課題遂行力、論理的・批判的思考力、専門的コミュニケーション能力、幅広い専門知識、研究への責任感と高い倫理性を深化させることを目指します。

2.教育方法

1. 各学生が取り組む研究課題に関する専門分野の学修および研究については、学生の研究課題に最も相応しい専門分野の指導教員により指導を行います。毎年次、その専門分野の特論演習(論文指導演習)を履修させ、学修および研究を計画的に進めるために、指導教員が指導を行い、専門家としての能力を育てます。
2. 2年次の初めに博士論文作成研究計画書を提出させます。研究の状況により半年後に再提出させます。この計画書の作成については、特論演習担当教員2名により指導を行い、研究課題遂行力、論理的・批判的思考力、専門的コミュニケーション能力、幅広い専門性の育成を支援します。
3. 博士論文を提出するには以下の条件を満たしていなければなりません。1)所定の年限在学し、2)語学試験に合格し、3)所定の授業科目の単位を修得し、必要な研究指導を受け、4)一定の研究業績があること。
4. 博士論文を提出するには、草稿を提出し、審査に合格しなければなりません。草稿の合格後1年以内に本論文を提出しなければなりません。退学後に博士論文を提出場合には、退学時に研究報告(論文)を提出し、審査に合格しなければなりません。合格の場合、退学後3年以内に博士論文を提出することができます。

3.学修成果の評価方法

1. 各授業科目における達成度の評価は、シラバス等によりあらかじめ示した成績評価方法・基準に基づき、客観的かつ厳格に行います。また、各学生の授業科目の履修状況、成績取得状況、研究の状況等を定期的に確認します。
2. 博士論文においては、複数の審査員が、以下の評価基準に則り総合的に判断し、評価します。
 - 1)明確な問題意識に基づきテーマが設定されていること
 - 2)構成が適切に組み立てられ、論旨が明快であり、明晰でわかりやすい文章で書かれていること
 - 3)当該分野の研究を十分に理解し、適切な評価を下していること
 - 4)適切な方法で研究資料を収集し的確な分析・考察がなされていること
 - 5)研究者としての研究倫理を身につけていること

- 6) 専門分野における十分な知識を有していることが示されていること
- 7) 自立して研究を遂行できる能力を示していること
- 8) 学術水準や学際的観点から見て、十分な独創性や重要性があり、学術的・社会的な要請にも応えるものであること

3.ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本研究科の教育目的を実現するために編成された教育課程において、定められた要件単位を修得し、かつ、研究指導を受け、標準修業年限内に博士論文の審査および試験に合格した者に博士の学位を授与します。

1. それぞれの分野において、自立して研究するために必要な高度な専門知識と卓越した研究能力
2. それぞれの分野において、指導的・先導的役割を担うことができる幅広い専門的識見とコミュニケーション能力
3. 専門家としての責任感と倫理性をもって研究や業務を遂行する能力
4. 国際的視野に立って学術的・社会的な要請に応えることができる高度な専門知識に基づく多面的・総合的思考力とコミュニケーション能力

(1)専門知識と研究能力:

研究科目(言語学特殊研究・言語教育学特殊研究・日本語学特殊研究・英語学特殊研究)、演習科目(言語学特論演習・言語教育学特論演習・日本語学特論演習・英語学特論演習)、研究指導、博士論文作成計画書作成、博士論文作成、中間発表、ポスター発表、論文投稿、等

(2)リーダーシップ能力とコミュニケーション能力:

研究科目、演習科目、博士論文作成計画書作成、博士論文作成、中間発表、ポスター発表、TA 経験、インターン経験、学会発表、等

(3)倫理性・責任感と課題遂行能力:

演習科目、博士論文作成計画書作成、博士論文作成、中間発表、ポスター発表、TA 経験、プロジェクト参加経験、等

(4)多面的・総合的思考力とコミュニケーション能力:

演習科目、セミナー発表、中間発表、ポスター発表、TA 経験、インターン経験、国際学会発表、等